

まちの話題



マリーゴールドなど色とりどりの草花が人気

月に一度のお楽しみ

日野高シヨップが開店

日野高校の生徒たちが作った野菜や草花、農産加工品などを低価格で販売する「日野高シヨップ」が、5月から12月までの第2土曜日に、町商工会館前（根雨）で開かれています。5月8日の開店初日には、同校郷土芸能部による荒神神楽も披露され、華やかな開店セレモニーとなりました。

また、当日は手作り豆腐と草花などが販売され、集まった約60人の住民らで行列ができるほどの盛況ぶりでした。

あなたの声や地域・職場での話題をお寄せください。
★役場企画政策課まで（電話72-0332）

成長楽しみに

ひのっこ保育所稚アユ放流

日野川のアユ解禁を前に、ひのっこ保育所年長児による稚アユの放流が、5月12日に、黒坂カワコふれあい公園で行われました。

これは、日野川と、そこに住む生き物に親しんでもらおうと、町水産振興連合会（生田正明会長）が毎年主催しているもの。

放流を前に、生田会長が「町外からもアユ釣りのお客さんがやってきます。みんなも成長を楽しみにしててください」とあいさつし、園児らはバケツに入ったたくさん稚アユに「元気で大きくなって」と声をかけながら一斉に放流していました。



7月には保育所で「アユつかみ」も行われます



小さな地震計でも大きな成果が期待

揺れのメカニズム学ぶ

小学生が地震を学習

各地で起きる地震の揺れを観測し、揺れが伝わる仕組みなどを解明するため、京大防災研究所が町内に地震計を設置し、併せて、5月18日に根雨小学校6年生へ特別授業が行われました。

根雨小学校には、京大の矢守克也教授らが訪問。児童らは、地震の仕組みなどの説明を聞いたり、実際に地震計を揺らして、体を感じないほどの揺れでも感知することを学びました。その後、津地内へ移動し、自分たちの手で地震計を設置しました。

この地震計は町内に計3個設置され、地震データを防災研究所が解析、地震予知に役立てられます。

素早さ、正確さ競う

町消防ポンプ操法大会

消防団員が消防ポンプの操作技術を競う、町消防ポンプ操法大会が、5月23日、ひのっこ保育所で開かれました。

今回はポンプ車操法の部が行われ、4人1組の選手が消防ポンプ車を操作して標的に向かって放水、それを終了するまでの規律動作や時間などを競いました。

町消防団の第1から第3までの各分団から1組ずつの選手が出場し、日ごろの訓練で身に付けた技術を披露した結果、第1分団が優勝しました。

7月4日には、県西部消防ポンプ操法大会が、県消防学校（米子市）で開かれます。



見事な操法で優勝した第1分団

オシドリ通じた交流の成果



「今後はボランティア養成などが課題」と話す森田さん

オシドリグループに地域づくり大賞

県内の地域づくりに貢献した団体を表彰する第6回鳥取県地域づくり大賞を、オシドリグループ（池岡幸三代表）が受賞しました。

5月29日に倉吉市内で開かれた授賞式では、事務局の森田順子さんが出席して表彰状を受け取ったほか、グループの活動報告を行いました。

森田さんは、オシドリの写真パネルを手に、その生態や特徴、グループの保護活動などについて説明し、県と町の鳥であるオシドリをアピール、「いろいろな方の協力や仲間のおかげで続けることができた。観察小屋に來られた方が『また来たよ』と言ってくださるのが一番うれしい。今回の受賞を機にますます頑張りたい」と、活動への思いを語りました。

色とりどりの咲く

町さつきまつり

町内の愛好者らが丹精込めて育てたサツキや盆栽を一堂に展示する、第38回日野町さつきまつり（同実行委員会主催）が、6月1日から3日まで山村開発センターで開かれ、今年の咲き具合や枝ぶりを確かめようと、町内外から見物客が訪れました。

会場には、色とりどりのサツキや、細かく手入れされた見事な盆栽など約50点がずらり。見物客は一つ一つに見入っていました。

■受賞者（最優秀賞のみ掲載）

さつきの部Ⅱ（銘木の部）塚本正夫さん（舟場）

盆栽の部Ⅱ大西新一さん（野田）



小さくても迫力ある作品が並ぶ



ずらり並んだ作品たち

まちの美の祭典

町文化展

町内の文化団体が日ごろの活動で生み出した作品を展示する、第7回日野町文化展（町文化団体連絡協議会主催）が、6月5日から7日までの3日間、山村開発センターで開かれました。

5日に行われた開会式では、協議会の植木正枝会長があいさつし、「皆さんが日々生み出された作品に感動しています。皆さんの元気を会場の皆さんにも分けていただきたいと思います」と話しました。

会場には、写真や書道、ちぎり絵、陶芸のほか、日野町ならではの石こけしなど多彩な作品約130点が並び、訪れた人たちは、その出来栄に感心しながら見つめていました。

ソノキのコンサート

サロンコンサート

6月5日、サロンコンサート「ジャズ&ボサノバで魅惑の夜を」（ホールと共に歩む会主催）が、町文化センターホワイエで開かれました。

今回は、米子市などで活動しているバンド、ジャスト・フレンズが登場。「イパネマの娘」「A列車で行こう」などのボサノバやジャズの名曲のほか、「大山賛歌」をボサノバにアレンジした曲も登場するなど、多彩なジャンルの曲で飽きさせない構成になっていました。会場は、約60人の聴衆で満員に。心地よい歌声と音色にゆったりくつろぎながら聴き入っていました。



2001年結成の5人組「ジャスト・フレンズ」